

# 天文学とプラネタリウム

第24回



www.tenpla.net



今月のお題

## 天文児童書データベース



■あすところかた、好評リリース中。

星の世界に魅了されるきっかけを作ってくれるのは、たくさんの本でした。今回天プラでは、そんな天文系児童書を集めてみました。

高梨直紘 (東大D1/天文学教育研究センター所属)

平松正顕 (東大D1/国立天文台ALMA推進室所属)

### 宇宙への窓：本の世界

あなたを最初に宇宙へいざなったのは何でしたか？話題の天文イベント？買ってもらった望遠鏡？それとも天文趣味の家族？答えはきっと人によって違うことでしょう。そして、書籍を通して初めて宇宙への旅立ちを体験したという方もきっと多くいらっしゃるでしょう。

天プラでは最近、子育て中の親御さん向けや病院に入院しているお子さん向けの天文教室もお手伝いしています。そこで使える/オススメできる絵本をリストアップしよう、ということで天プラ及び天文教育普及研究会のメンバーリスト上でメンバーの皆さんに推薦をお願いしたところ、とてもたくさんのメールが寄せられました。みなさん絵本に限らずいろいろな天文書籍をご存知で、しかも1冊1冊に思い入れがあ

って、本が持つ意味の大きさを改めて実感した天プラメンバーでした。かく言う筆者も星座と神話の本から始まって図鑑や学研「ひみつシリーズ」など、様々な本で宇宙に関する情報を仕入れていました。今天文学を専攻するようになった原点も、やはり天文書籍だったのです。

寄せられた情報をもっとたくさんの方と共有するために、データベースにまとめてインターネット上で公開しています。天プラトップページ下にある、『天文書架』のリンクを辿ってください。いかがでしょう。みなさんお気に入りの本はリストアップされていますか？お気に入りの本がある場合には、ぜひコメントを書き込んでください。その本に対する皆さんの印象も大切な情報になります。そして「他にもこんないい本があるよ！」という方は、ぜひ天プラにメールをお寄せください。データベースをどんどん充実させていきたいと思います。



病院への寄付の呼びかけに応じて集まった様々な絵本。病室の子供たちの世界が、この本をきっかけに広がってくれたら。

このデータベースでは主に絵本を中心とした書籍をリストアップしていますが、中には大人も楽しめる本も混ざっています。絵本でゆったりとした宇宙の世界を楽しみたいあなたも、かわいい子供を天文色に染め上げたいあなたも、必見です。